

平成 21 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 東 野 治 之

最終学歴 大阪市立大学大学院 文学研究科 修士課程 修了

取得学位 東京大学博士（文学）（論文博第11206号）

所属学会 史学会 木簡学会 美術史学会 和漢比較文学会 続日本紀研究会
大阪歴史学会 万葉学会 東方学会 日本医史学会

現在の専門分野 日本古代文化史

研究課題 金石文・木簡等の古代文字史料 東アジア交流史

【研究上の特記事項】

東京国立博物館の客員研究員として、同館所蔵の法隆寺献納宝物の調査に従事。

【教育上の特記事項】

【社会的活動】

東京国立博物館客員研究員 奈良県立橿原考古学研究所指導研究員
奈良県文化財保護審議会委員 大阪市文化財保護審議会委員
(財)山口文化会館 滴翠美術館館長 史学会・木簡学会・東方学会評議員
なら奈良館講座「世界遺産とその周辺」講演（光明皇后と阿修羅像、4月）
奈良国立博物館特別展講演「鑑真和上と日本文化」（4月）
木津川市講演「馬場南遺跡の信仰と儀礼」（6月）
奈良大学文化講座講演「日本国号の成立」（7月）
奈良県大学連合講演「再建法隆寺と聖徳太子信仰」（8月）
九州国立博物館講演「阿修羅像と光明皇后」（同）
奈良歴史地理の会講演「平城遷都の思想」（12月）

【学内活動】（学内職歴を含む）

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 『鑑真』	単著	2009年11月	岩波書店	日本の仏教や日唐文化の交流に大きな役割を果たした唐僧鑑真の学問・思想・生涯をたどり、日本史上の意義を明らかにした。
(学術論文) 薬師寺仏足石記再調査覚書	単著	2009年4月	水門 21号	奈良時代半ばに作られた薬師寺の仏足石の銘文を、実地調査した結果をまとめ、新たな読みを示した。
古代における法隆寺金堂の安置仏像	単著	2009年9月	『古代文化』61巻2号	現法隆寺金堂が創建された頃の内部を、資財帳などの史料批判を通じて復原した。
唐僧法進撰『梵網経註』の史的意義	単著	2010年3月	『仏教文学』34号	鑑真に付いて来日した唐僧法進が日本で著作した注釈書の内容を検討し、文化史的な意義を明らかにした。
(学会発表) 鑑真和上と唐招提寺の創建	単著	2009年11月	戒律文化研究会	奈良時代半ばに来日した鑑真は、晩年唐招提寺を創建して移り住むが、その事情がどのようなものであったか、また造営がいつに進行したのかを、主に文献史料を使って論じた。
(その他)				